

# 令和6年度 とうきょう すくわくプログラム活動報告書

東京都町田市南成瀬5-1-12 SKビル1階  
学校法人明泉学園 成瀬フェリシア保育

## 1. テーマ

自然の探究

## 2. テーマ設定理由

年度のはじめ頃より「たけのご掘り」「いもの苗植え」「ヤギとのふれあい」「カブトムシの飼育観察」「夏野菜の栽培」など多くの自然体験を重ねてきた。中でもカブトムシや野菜の生育状況への興味関心が高いことから「生きている」ということを考えたり実感できるようテーマに設定した

## 3. 環境の設定・準備

- ・大根の種
- ・チューリップの球根
- ・スコップ
- ・土
- ・たらい
- ・観察台
- ・虫眼鏡
- ・虫かご
- ・植木鉢
- ・水やり用ペットボトル
- ・食紅
- ・講師による自然あそび
- ・透明カップ
- ・植木鉢の表示
- ・スポイト
- ・図鑑、絵本

## 4. 探究活動の実践

11月

いもの苗植え・夏野菜栽培からの「収穫&食育」と経験を積んできたそら組さん。今回は大根とチューリップの栽培をおこなった。初めて種から育てる大根とチューリップの球根。この不思議な物体に目を輝かせてじっくりと観察。「たねからはっぱがみえる」「たまねぎだね...」「ちょっとくさい」などこどもならではのつぶやきが飛び出します。チューリップは自分の鉢に植え込んでマイプレート作り、3月の修了式に持ち帰ることを楽しみに栽培スタート！  
おおきくな〜れ



1月

7月にカブトムシがやってきた！

図鑑や映像では見たことがあるが、殆どの子は始めて目に  
したようである。昆虫ゼリーを食べているのを見ては「なにあじかな？」  
「たべたくなっちゃう〜」との声も。食べたら出るモノといえば「うんち」...想像  
以上に絶句...。みんなから愛されたカブトムシは2つの小さな命を残して逝きました。  
「おそらにいっちゃったね」「き(木)にいくんだよ」と。「どこかできいたの？」と問うと、  
絵本で見たとのこと。死=このば場所から居なくなるということは感じ取ってい  
るようであった。幼虫は暗いところで眠るということを図鑑で知っており、  
ケースの中からうっすら姿が見えると「うごいた！」と  
大騒ぎのそら組さんです！



3月

3/19(水)雪が降った。

雪の活動を行いたいと思いながらも  
こればかりは...どうすることもできず諦めていたところ  
チャンス到来、恵みの雪となった。タライに雪をかき集め室内での  
雪遊び開始〜。虫眼鏡で雪を見たり「てが...つ・め・た・い」と言いながらも  
雪だるまを作ったり、かき氷やさんを始めシロップをかけて「はい、どうぞ」創作  
意欲あふれるこども達。保育の中で「スポット」を何度か使用したことがあり、  
液を吸って目的の場所まで持ってくる。大人は何気なくできてしまう  
ことでも、この年齢のこども達にはかなり高度な技術を  
要するもの、小さな経験の積み重ねが  
発揮された一場面



3月

園バスに乗って

短大へ自然遊びに出かけた。

講師の先生に広大な敷地に広がるこの時期の自然についての話を伺った後、探検に出発！遊具で遊んだり走りまわったり、ふと目をやるとタンポポや綿毛に菜の花を発見。タンポポは道端に咲いていたり絵本で知り得た情報から熟知しているようである。近くでじっくり探求した後「わたげ、ふ～しよ」「いっしょにしよ～よ」と楽しい時を共有していた。別の場所では小山に土管があり皆の冒険心をくすぐります。全身芝まみれになりながらのおしり滑りに土管探検。春間近の自然を匂・触・視・聴・感で体感することができた。今後のお散歩時の視点の変化が楽しみである。



## 5. 振り返り・気づき

今年度は4月のたけのこ掘りから始まった自然活動。短大の広大で安全な環境の中、ヤギとのふれあいやいも掘りなど活動から土や動植物にはある程度下地ができていことも達。虫眼鏡はお散歩で使用しているアイテムだけあって、何かを見たい！と思ったら「むしめがねは？」と催促されるほど使いこなして今回も大活躍であった。ラッキーなことにカブトムシが園にやってきた。オス・メスの違いを図鑑で調べたり、餌が空になっていないか確認してくれたり園児だけでなく保護者さんや兄姉の皆さんも気にかけて飼育していたものの、カブトムシの寿命は短くその日はやってきた。上記にもあったように死については、はっきりではないものの、この場には居なくなるという状況は理解しているようであり、改めて絵本の素晴らしさをも実感した取り組みとなった。

# 令和6年度 とうきょう すくわくプログラム活動報告書

東京都町田市南成瀬5-1-12 SKビル1階  
学校法人明泉学園 成瀬フェリシア保育園

## 1. テーマ

光の探究

## 2. テーマ設定理由

ガラス張りの天井と窓から太陽の光がサンサンと降り注ぐ保育室で、こども達は日々、晴れ・雨・曇りなどの天候や眩しさを感じ取っている。手を伸ばし触れてみようとしたり、隠れようとする様子など興味を示していることからテーマを設定

## 3. 環境の設定・準備

- ・マグビルド
- ・カラブロック
- ・ライトテーブル
- ・ホワイトボード
- ・明：光を取り入れる
- ・暗：光を遮る（ロールスクリーン）

## 4. 探究活動の実践

### 2月

窓から射し込んだ光を見つけると...  
「あれー？」「なにかな？」「おつきさまかな？」  
「手がね...みてみて」と大興奮。側にいたお友だちと一緒に触ってみたり、顔を近づけたり不思議な物体と暫し格闘！その後、顔や手に写したり光の方に目をやったり...  
最後には持っていた絵本に反射させ何度も光遊びを楽しんだ。自分の好きな絵本に光が当たり反射することが楽しくて笑いが止まらず納得いくまで繰り返しを楽しんだ





1月

床に映る影を発見！

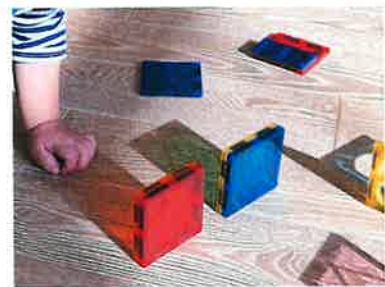
歩いてみると、ついてくる影に  
「これ何かな？」と興味津々。すると  
先を選んでいた絵本を持ってきて、立てて置い  
てみると…。パタンと倒れたが、影の動きが面白か  
ったようで、何度も立てては倒してを繰り返した。  
更に自分の手の影も動いていることに気が付くと  
「なにこれ！」と言いながら手をグーパーしたり  
揺らしたりして楽しんだ。影の存在に気づき、  
手や絵本を使い、色々試しながら  
「影」の存在を知るきっかけとなった。

1月

光に当てて

様々な色の影あそび

違う色のブロックを組み合わせると  
色が変わること気が付いた「黄緑になった！」  
オレンジと青を合わせてみると色が上手く  
混ざらず「(色が)なくなっちゃった…」  
と残念そう。その後は色の組み合わせを  
変えながら変化を楽しんだ



たくさんのブロックを 1月

使って大きな船を作りゆっくり

走らせていた。光の当たる角度が変わるとスタンド  
グラスのように光を通してきれいな影が見えた。動か  
して遊んでいると影も動くことに気が付いた。光に対して船  
を横に向けると全体に光が当たり綺麗な影を見ることができ  
「(光が)増えた！」と喜んだ。更に進んでいくと日陰に入っ  
てしまい「あれ、見えなくなっちゃった…」と不思議  
そうであり残念な様子。光と影に興味を持ち、  
じっくり観察をして動かしたらどう  
なるのかを探求した

3月

### トップライト窓側の

ロールスクリーンを下ろし、室内を暗くした中で行った。一歳児は室内が真っ暗であることに不安を抱くことを考慮して薄暗い程度の中で行ったが、十分に「光」を感じる事が出来た。子どもたちは光るボードを見つけると興味を持って近付き、そっと触って温度や触感を確かめるところから始めていた。スケルトンブロックを置いてみると色彩が変わったことに気がついた様子で、じっくり観察しながら視覚から楽しんでいる様子であった。色の名称を言葉にしながら並べる、積み重ねる、形どる、重ねて色の変化に気が付くなど様々な姿が見られた



## 6. 振り返り・気づき

今回ライトテーブルを初めて使用。つい大人はついきれいに発色するものを用意したくなるが、子どもたちは「これはどうかな？」と身近な物を確かめるように置いては自己採点。それぞれの発見を遊びの中から感じ取っているようであった。また、ライトテーブル使用にあたっては、初めての取り組みということもあり、部屋の暗さを考慮してみた。次回は一段階暗い部屋での光り方や、太陽光を用いながら変化を楽しんでいきたい。

眩しいからロールスクリーンをおろす、雨で暗いから上げておくというのは、生活を快適に過ごすためであるが、こども達にとっては隙間から漏れ入る強い光や時間とともに動く陽射しなど、初めての発見や気づきの宝庫であった。1歳児は興奮のあまり発する言葉こそ少ないけれど、嬉しそうな表情であったり真顔で凝視している表情が微笑ましく、保育士も共感しながら学びを深め合うことができた取り組みとなった。

# 令和6年度 とうきょう すくわくプログラム活動報告書

東京都町田市南成瀬5-1-12 SKビル1階  
学校法人明泉学園 成瀬フェリシア保育園

## 1. テーマ

音の探究

## 2. テーマ設定理由

散歩の道中や公園などでの自然に耳にする音、保育室などの生活の中での音、ひよんなことからおもしろい音になったり自分で奏でる音、心豊かになる音など子どもたちの音との出会いに着目した

## 3. 環境の設定・準備

- ・自然の音（屋内外）
- ・音遊びの楽器（タンバリン・スズ・カスタネット）
- ・いろいろな音（大小様々な形状の箱）
- ・棒
- ・ヨガの講師による音あそび
- ・本物の音との出会い、コンサートへの参加
- ・コスチューム一式

## 4. 探究活動の実践

12月

### 音あそび・1

公園に出かけた際に身近な木製のベンチを太鼓のように叩き自然の中で音を奏で音を体感したり、室内では床を叩きバンバンドンドンと大きな音を出したり止めたり...音の大小の表現では、大きな音を出すことは得意だが、小さな音を出すことに難しさを感じていて「あれあれ？」と首を傾げながらも指を使ってみたり片手でたたくなど試行錯誤しながら音探しをした。幼稚園の大きなホールでは、ヨガ講師によるリズム体操があり、音調に合わせて体を揺らしたり伸ばしたり、体全体で音を感じ取り心地よさを実感していた。





### 音あそび・2

3月

生活の中で様々な音に触れ、興味あふれるこども達。音あそびのひとつとして「この音な〜んだ」クイズをおこなった。こども達に見えないように様々な音を鳴らすとよく聴いています。何度か耳にしたことのある音は、ゼスチャーでタンバリンをたたくような仕草をして手をたたいたり、聞き覚えの無い音には耳をそばだてて聞き入って不思議そうな顔をしていた。楽器紹介を聞いてはじっくり観察し、同じように叩いたり自由に体を使って表現し楽器遊びを楽しんだ。

3月

### 音あそび・3

配達された箱を叩くといい音が出た！  
形や大きさの違う箱ではどんな音がするのか？  
という問いから、箱の音遊びが始まった。形状の違う箱をたくさん集め思いおもいに棒や手で叩き音と感触を確かめるように楽しんだ。大きな箱は大きな音ができる、たくさんの人数で叩くともっと大きな音ができる！楽しい。中には箱を重ねて音を確認している子もいて「なんかちがうおとがする??」と予想したものと違った音が出たよう  
で新たな発見となり、様々なタイプの箱でチャレンジを続けていた。発想の豊かさに驚かされた音あそびとなった。







幼稚園のホールで 2月

歌のお姉さんによるコン

サートに参加した。こども達が

憧れるプリンセスのようなドレス、キラ

キラのネックレスに髪飾り、それに素敵な歌

声♪こども達は緊張のあまり正座や足ギュッと抱きしめ凝視...

心配をよそに、園に戻ると舞台を設営し、マイク代

わりのブロックやドレスで着かざり盛大なコンサートが繰り広げられた。

きれいな演奏や歌声・手振り

身振りまで凝視しながらインプットしていた

のですね。生の歌声、本物のとの出会いを

基に、こども達の活動が大きく

展開していった

## 5. 振り返り・気づき

ままごとの玩具が触れ合う音やテーブルを叩く音、ボールのはねる音など保育の中で多くの音に触れて過ごしている。思いもしないおもしろい音があったり、自分で奏でる音、心豊かになる音など子どもたちの音との出会いに着目し、始めていった。

音あそび3での箱の形状について、大きい小さい程度の認識かとおもいきや「ほそなが〜い・ぺっちゃんこ」などの表現ができていたり、直方体の箱を意図的に縦・横向きに置いてあったのを見て「たかい・ほそながい」と語彙力表現力の豊かさには大変驚かされた。棒や手で箱を叩いてみた時、大きな箱が大きい音であるのは皆が納得。しかし中には、小さいのに大きな音に聞こえる箱もあり、大人は経験上すぐに材質の違いに着目してしまうものだが、こども達は「これ、ちいさいけどつよいなあ」と『強さ』で表現し、その箱を撫でたり持ち上げたりしながら『強さ』を確かめていた。

こども達の探究活動であるが、保育者にとってもなるほど！と気付かされることの多い活動であった。